

労働法解説漫談「あこがれの労働三権」

リニューアルでさらに好評

木藤なおゆきの労働漫談「あこがれの労働三権」が、リニューアルして大好評だ。

労働者には、雇用保険、健康保険、厚生年金、労働基準法、労働安全衛生法等々、たくさんの権利が保障されているのに、芸人は何も保護されていない。その要因は長年にわたって、労働組合に団結し生活と権利で闘ってきた労働者に比べ、芸人はバラバラ、少ない仕事を奪い合い、いがみ合い、足を引っ張り合



い、あげくの果てに「とつ組み合い」。

「労働組合と『取っ組み合い』は違いますよ」。

こんなギャグをふんだんに入れた労働法解説漫談に「勉強になった」「分かりやすく、面白い」等と出演依頼が急増中。これで、なおゆきの生活も当分安定? めでたしめでたし。

三若さん「骨折」にも負けず

全国ツアー7カ月で二五〇公演

4月1日から1年間、「全国落語武者修行ツアー」中の桂三若さんが、9月20日滋賀県で高座から降りる瞬間足を滑らせ剥離骨折。激痛から歩くことも正座もできず、さりとてスケジュールのキャンセルは尚できず。松葉杖の助けを借り10月22日に28県目の石川県到着。この7カ月間で2百50公演を突破。

このペースは笑工房の年間受注数を上回る勢い。

たかが骨折の三若一人に、笑工房が負けるとは、ああ、情けないやら悔しいやら、トホトホ…。

巡業中の三若が笑工房の高座で演ずるのは、生徒を対象にした「お地藏さんの遠メガネ」。公演に各



実録? 笑工房伝 (37)

芸能界では所属事務所内緒で仕事を言ったりします…

予算がないんですか、私でよかったら安くても行かせますよ…

そのかわり会社には内緒にしますわ、何しろ…

笑工房の電話帳

学校から礼状や感想文が連日のように届いている。「過去に『いじめ』の講演は聞いたが、落語を通じては初めて、『直球が下真中』にズドンときた感じ。思い切って笑工房にお願いして良かったと、心から感謝しております」(南瀬谷中学校PTA)。「予想をはるかに上回る反響を呼び、異口同音に『素晴らしかった』との感想が寄せられ、企画したPTA関係者も大変喜んでおり、校長としても嬉しい限り」(四條畷市立忍ぶが丘小学校校長)等々。

第6回定期株主総会のお知らせ

12月1日午前10時30分より

エルおおさか(府立労働センター)にて

第6回定期株主総会を、来る12月1日(土)午前10時30分より、エルおおさか(府立労働センター)にて開催します(決算書とご案内は後日送付)。株主の皆様には、万障繰り合わせの上、ご出席をお願い致します。

朝ドラ「チリトテチン」効果か

笑福亭たまが神戸と綾部で3公演

10月から始まったNHKの朝ドラ「チリトテチン」は、大阪を舞台にした女性落語家の物語。

そもそも「チリトテチン」とは上方落語の一つ。

負けず嫌いで何事も知ったかぶりをし、何を御馳走しても「おいしかった」と感謝したことのない男。



その男の鼻をへし折ってやろうと、腐った豆腐を「長崎名物チリトテチン」とだまして食わせる噺。テレビ効果か笑工房にも「チリトテチン」が、兵庫県全労済2回、綾部商工会議所1回と、11月だけで3公演入った。

先方の予算もあり「芸人を誰にするか?」、相談の結果、笑福亭福笑の弟子・笑福亭たまに決定。理由は「チリトテチン」を師・福笑がゼスチャーたぶりの爆笑落語に仕上げている、「たまなら、きつと師匠譲りの面白い落語に…」と期待して。さて、弟子が師にどこまで迫るか?楽しみだ。

編集後記

「国境なき芸能団」が、来年は移民百周年のブラジルへ芸人の派遣を決めた◆故郷を捨て、異国の地で暮らす邦人が、何十年ぶりに日本の伝統芸能・日本の笑いに触れたとき、我々の想像を絶する感動で笑い・涙し・喜び・手を握る◆笑いは元気の源だ◆ブラジルで辛酸をなめられた人々に、我々の笑いをぜひ届けたい(小)。